



一般社団法人 インターホン工業会

☆ 所在地：〒141-0032 東京都品川区大崎 3-1-5、205 号

ホームページ：<http://www.jiia.gr.jp>

☆ 会員が製造販売等している主な機器等

- (1) 戸建用インターホン
- (2) 集合住宅用インターホン
- (3) 業務用インターホン（ナースコール含む）
- (4) インターホンに関連する通信・情報機器

☆ 沿革

昭和 41 年 10 月 インターホン工業振興会として製造・販売に携わる 14 社にて発足
昭和 49 年 10 月 インターホン工業会に改称
平成 22 年 4 月 「一般社団法人」に移行
平成 28 年 1 月現在 会員数 正会員 16 社 賛助会員 24 社 計 40 社

☆ 事業目的

インターホン及び関連する通信・情報機器工業の健全な発展を図り、国民生活の向上、福祉の増進、産業の振興及び文化の向上に資する事を目的として設立された団体です。

☆ 事業内容

- (1) インターホン及び関連する通信・情報機器工業の市場動向に関する調査研究
- (2) インターホン及び関連する通信・情報機器工業の各種統計資料等の作成発表
- (3) インターホン及び関連する通信・情報機器工業の啓蒙普及及び需要拡大に関する調査研究
- (4) インターホン及び関連する通信・情報機器工業の技術に関する調査研究及び規格整備に関する活動
- (5) インターホン及び関連する通信・情報機器工業に必要な資材及び生産合理化に関する調査研究並びにその改善
- (6) 官公庁その他関係機関に対する要望・諮問に対する答申
- (7) 関連する他の工業会、友好団体との提携協力
- (8) 講演会、講習会、見学会等の開催
- (9) 会員の親睦及び福利、厚生に関する活動
- (10) その他本会の目的を達成するために必要な事業

SDマーク
(適合表示マーク)



☆ 具体的な活動内容

- (1) 戸外表示器の告示基準適合審査活動

戸外表示器（SD）審査会では申請された戸外表示器が、基準（平成 18 年消防庁告示第 20 号）適合の是非を毎月審査しています。適合品には、適合マーク（SDマ

ーク)を表示しています。SD審査会は戸外表示器管理委員会(外部委員で構成)で運営が管理されています。

(2) 技術標準化活動

インターホン・ナースコール関連について、原案作成団体として工業標準化を推進しています。

JIS C 6020 インターホン通則 JIS C 6020 インターホン通則(追補 1)

JIS C 6021 テレビドアホン映像品質試験方法

JIS C 6025 ナースコールシステム用語

(3) インターホン自主認定審査会認定活動(HQI)推進

平成13年10月から、インターホンの機能や性能が技術基準を満たしていることを認定する自主認定制度として「HQD(High Quality Doorphone)審査会」を設け、戸建用インターホン・テレビドアホンを対象に実施してきました。

自主認定技術基準は、構造全般、電気部試験、温度試験、耐衝撃試験、音響試験、映像評価試験など多岐にわたっています。

平成23年3月より、対象範囲を集合住宅用インターホンとナースコールにも広げ、技術基準等の見直しを行い、新たに「HQI(High Quality Interphone)」として、自主認定活動を推進しています。



(4) 「劣化診断資格者」の認定

「劣化診断資格者」は、集合住宅用インターホン及びナースコール設備の劣化診断を行い、保守や更新計画のアドバイスを行う専門家です。

平成17年より「劣化診断資格者」制度をスタートし毎年、劣化診断資格者講習会を実施しています。



劣化診断資格者認定講習会風景

(5) インターホン・オブ・ザ・イヤー表彰

年間を通じて最も優秀なインターホン、システム機器(集合住宅用インターホン、ナースコール、業務用インターホン)及び関連機器について「インターホン・オブ・ザ・イヤー」の称号を授与し、その開発会社、技術者を称えることによって一層の技術的、魅力的な機器の開発促進とインターホン事業の発展に貢献しています。

